

平成27年度開設予定学部等一覧

1 学部を設置するもの 17校

平成26年10月

区分	大学名	学部・学科等名	入学 定員 (人)	位置	設置者	留意事項	備考
私立	跡見学園女子大学	観光コミュニティ学部 観光デザイン学科 コミュニティデザイン学科	120 80	埼玉県新座市 東京都文京区	学校法人 跡見学園	<p>・社会学としての体系的な教育課程編成として「観光社会学」は必要であるが、授業科目の内容が名称と一致しておらず、シラバスで提示された観光社会学の参考書においても、観光社会学とは異なる図書が記載されており、観光社会学を体系的に教授する科目となっていない。観光社会学として適切な内容に修正するとともに、適切な教員を配置すること。（観光デザイン学科）</p> <p>・教員の補充を必要とされた2授業科目については、開設時又は科目開講時までに教員を充足すること。うち、専任教員の配置を必要とされた1授業科目については、確実に専任教員を配置すること。（観光デザイン学科）</p>	<p>マネジメント学部 観光マネジメント学科（廃止） ※平成27年4月学生募集停止 マネジメント学科〔定員減〕</p> <p>(△ 90) (△ 30)</p>
〃	神奈川工科大学	看護学部 看護学科	80	神奈川県厚木市	学校法人 幾徳学園	<p>・教員の補充を必要とされた1授業科目については、科目開講時までに確実に専任教員を配置して教員を充足すること。</p>	
〃	松蔭大学	看護学部 看護学科	100	神奈川県厚木市	学校法人 松蔭学園	<p>・教育課程の区分として設定されている5つの科目群について、名称の定義が一般的な定義と異なるように思われるが、その点について適切な説明がなされておらず、教育課程編成の趣旨が不明瞭である。例えば、「人間の発達段階より、小児期、成人期、老年期をライフサイクルケア（発達と看護）」と定義し、それと「ウィメンズケア（女性と看護）」を併せて「一般に編成する成人看護学と母性看護学の科目内容である」と説明しているが、小児看護学と老年看護学が含まれない趣旨が不明瞭である。また、「トータルケア（看護の統合）」については、「トータルケア」と「看護の統合」の用語は一般的に異なる概念であると理解されているが、それを同一の概念と整理している趣旨が不明瞭である。さらに、これらの科目区分の編成が学部設置の趣旨や養成する人材像と整合していることを説明するよう求めた点に対して何ら回答が示されておらず、それらの点がいまだ不明瞭である。そのため、学生が本学のカリキュラムに沿って看護学を学修する上で混乱することがないように、これら全ての点に関する大学としての考え方について学部開設時までに十分に整理・検討を行い、必要であれば教育課程の構成を修正すること。</p>	

区分	大 学 名	学部・学科等名	入 学 定 員 (人)	位 置	設 置 者	留 意 事 項	備 考
	(松蔭大学)					<ul style="list-style-type: none"> ・「老年看護学実習Ⅰ」の概要として説明されている実習目的、実習内容、実習方法の記載について、実習内容に「～することができる」と記載されているなど、これらの記載区分に対応した説明となっておらず、科目の概要の説明として不適切である。そのため、実習目的、実習内容、実習方法が一貫した説明となるよう、実習目的を達成するためにどのような方法論に基づいた授業を展開するのかを明確にするなどして、記載内容を修正すること。 ・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実施すること。 ・教員の補充を必要とされた10授業科目については、科目開講時まで確実に専任教員を配置して教員を充足すること。 ・完成年度における法人全体の帰属収支差額がマイナスとなっていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。 ・既設校の学生募集活動において、戦略性と具体策を持って教職員が一体となり各種方策の充実や実効性の向上を図り、定員未充足の改善に取り組むこと。(松蔭大学 経営文化学部ビジネスマネジメント学科、経営法学科、金融経済学科、コミュニケーション文化学部異文化コミュニケーション学科、生活心理学科、日本文化コミュニケーション学科、観光メディア文化学部観光文化学科、メディア情報文化学科) ・監事監査をはじめとする監査業務の充実に取り組むこと。 	
私立	金城大学	看護学部 看護学科	80	石川県白山市	学校法人 金城学園	<ul style="list-style-type: none"> ・「基礎看護学方法論演習Ⅰ・Ⅱ」では、ベッド30台を備え、80人の学生が一度に学ぶことができる実習室を使用する計画だが、両科目は担当教員が各2名しかおらず、十分な指導を行うことができるか不明瞭である。そのため、十分な質を持った教育が行えるよう、授業の運営方法や担当教員の補充等について検討すること。 	社会福祉学部 社会福祉学科〔定員減〕 (△ 40)

区分	大学名	学部・学科等名	入学 定員 (人)	位置	設置者	留意事項	備考
	(金城大学)					<ul style="list-style-type: none"> 一部の演習科目において実施する「問題に基づく学習（PBL：Problem Based Learning）」の実施方法等のうち、以下の点が不明瞭であることから、PBLによる学習の効果が最大限発揮できる方法及び体制となっているか検証を行い、必要であれば計画を修正すること。 (1) 「小児看護学演習」「母性看護学演習」「精神看護学演習」においては、一つのテーマが1回の授業で完結する小規模なPBLを複数回行う計画であるが、一般的なPBLは一つのテーマを複数回継続的に議論するものであり、PBLの特徴を活かした教育が実現可能かどうか不明瞭である。そのため、適切な効果が得られる授業方法になっているか検証すること。 (2) PBLを用いる演習科目の概要説明において、看護技術をPBLの活用によって身につける旨の記述があるが、PBLによってどのように看護技術を習得するのか不明瞭である。そのため、PBLの成果を看護技術の修得に適切につなげることができるか検証すること。 (3) 少人数グループによる学習を行うために必要なファシリテーター等の指導者の配置計画が不明瞭であることから、学習を円滑に実施することができる体制となっているか検証すること。 完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実施すること。 既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (金城大学 社会福祉学部社会福祉学科) 認可後に補助金（白山市）が収納予定であることから、収納後、速やかにその旨を報告すること。 	
私立	福井工業大学	スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科	70	福井県福井市	学校法人 金井学園	<ul style="list-style-type: none"> 地域スポーツ指導者コースでは、「ライフステージや対象者の目的に応じた運動プログラムを立てるための知識や、運動指導に必要な技術」を修得するための教育課程を編成している。その目的が十分に達成されるよう、実技科目には、例えばエアロビクスやウォーキングや健康運動プログラムを企画するための実技などの地域住民を対象とした内容を増やし、教育課程の充実を図ること。 「保健体育科教育法Ⅱ」について、その授業内容から教育実習前に履修すべき内容であるため、配当年次を適切に修正すること。また、教育実習の経験を踏まえた授業の内容は「教職実践演習（中・高）」と重複しているため、当該科目の位置付け及び授業内容を検討し、適切な内容の授業を実施すること。 	工学部 機械工学科〔定員減〕 (△ 20) 建築生活環境学科〔定員減〕 (△ 5) 平成27年4月名称変更予定 工学部 電気電子情報工学科 →電気電子工学科 建築生活環境学科 →建築土木工学科

区分	大学名	学部・学科等名	入学 定員 (人)	位置	設置者	留意事項	備考
	(福井工業大学)					<ul style="list-style-type: none"> ・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実施すること。 	
私立	山梨学院大学	国際リベラルアーツ学部 国際リベラルアーツ学科	80	山梨県甲府市	学校法人 山梨学院	<ul style="list-style-type: none"> ・担当単位数が過多と思われる教員がいることについて、「アカデミック英語：A」及び「アカデミック英語：B」の担当を予定している教員の負担が大きいと分析した上で、それらの科目は日本人学生のみを対象とした科目であり、さらに「アカデミック英語：A」については選択科目であることから実際の開講数は申請書上の計画よりも少なくなるとして、実際の教員負担は大きくないという説明をしている。しかし、それらの科目の実際の開講数の見込みなどが示されておらず、また、仮に実際の開講数が申請書上の計画より少なくなった場合にどの教員が担当から外れるかなどの詳細な説明がなされていないことから、申請者の説明には不明瞭な点が残る。さらに、「冬期特別授業期間」に行われる補習授業の負担についてはこの教員負担計算に考慮がなされているか不明瞭である。そのため、実際に見込んでいる科目開講数や開講数に応じた担当者の割り振り、補習授業の負担等について詳細な分析を行い、教員の負担が過度にならないように適切な体制を整えること。 ・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実施すること。 	法学部 法学科〔定員減〕 (△ 30) 経営情報学部 経営情報学科〔定員減〕 (△ 50)
〃	岐阜聖徳学園大学	看護学部 看護学科	80	岐阜県岐阜市	学校法人 聖徳学園	<ul style="list-style-type: none"> ・看護過程の展開に関する教育について、「看護学概論」においてヘンダーソンの理論を用いて事例を通して看護過程の展開の基礎知識を学習する計画となっているが、同理論を理解するためには看護学に関する一定の知識が必要であることから、看護学について学び始めたばかりの1年前期に履修する同科目における学習内容としては適切でないと思われる。そのため、看護過程に関する教育については、一つの科目のみによるものではなく、特に臨地実習前の2年前期までを中心とした4年間にわたって段階的に学習が行えるようカリキュラムの内容を検討し、適切に修正すること。 ・教員の補充を必要とされた1授業科目については、科目開講時まで確実に専任教員を配置して教員を充足すること。 ・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実施すること。 	

区分	大 学 名	学部・学科等名	入 学 定 員 (人)	位 置	設 置 者	留 意 事 項	備 考
私立	日本福祉大学	看護学部 看護学科	100	愛知県東海市	学校法人 日本福祉大学	<p>・教員の補充を必要とされた3授業科目については、科目開講時までに確実に専任教員を配置して教員を充足すること。</p> <p>・認可後に補助金（東海市）が収納予定であることから、収納後、速やかにその旨を報告すること。</p> <p>・既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 （日本福祉大学 健康科学部福祉工学科 国際福祉開発学部国際福祉開発学科）</p>	<p>社会福祉学部 社会福祉学科〔定員減〕 (△ 50)</p> <p>経済学部 経済学科〔定員減〕 (△ 50)</p>
〃	京都学園大学	健康医療学部 看護学科 言語聴覚学科 健康スポーツ学科	80 30 90	京都府京都市 京都府亀岡市	学校法人 京都学園	<p>・教員の補充を必要とされた1授業科目については、科目開講時までに確実に専任教員を配置して教員を充足すること。（看護学科）</p> <p>・学生確保の見通しについて継続的な分析を行い、より実効性のある学生確保の取組となるよう、分析結果を踏まえて不断に見直し、長期的かつ安定的な学生確保に努めること。（言語聴覚学科）</p> <p>・本学が掲げている4年制大学における言語聴覚士の育成方針（①患者の個別性を理解できる教養豊かなセラピストの養成、②専門科目を系統的に学習できる時間的余裕とそれを支える教員の臨床教育能力の確保、③研究者マインドを持った臨床家の養成）が担保されるよう、教育内容や体制の一層の充実に努めること。（言語聴覚学科）</p> <p>（1）「失語・高次脳機能障害学Ⅰ」など講義と演習を併用して行う授業科目については、言語聴覚士を養成するための適切な学修時間の確保という観点から、講義と演習とを別の授業科目として開設するなど、授業内容の一層の充実に努めること。</p> <p>（2）臨地実習の成績評価について、出席したことをもって評価されることのないよう、各臨地実習の教育目標に照らした学生の到達度を評価するなど適切に実施すること。</p> <p>（3）教員の「勤務日数」が平均して4日となっているが、各教員が大学の目的を達成するために教育研究を実施していることを踏まえれば、「週1日の研究時間」も当然「勤務日数」に含めるべきものであるため、適切に修正すること。仮に、教員の「勤務日数」が4日であるとしても、学生に対する安全管理やオフィスアワーにおける相談・指導に支障がないようにすること。</p>	<p>経済学部（廃止） 経済学科 (△ 170)</p> <p>経営学部（廃止） 経営学科 (△ 96)</p> <p>事業構想学科 (△ 96)</p> <p>法学部（廃止） 法学科 (△ 120)</p> <p>人間文化学部（廃止） 心理学科 (△ 80)</p> <p>メディア社会学科 (△ 45)</p> <p>歴史民俗・日本語日本文化学科 (△ 60)</p> <p>国際ヒューマン・コミュニケーション学科 (△ 33)</p> <p>※平成27年4月学生募集停止</p> <p>バイオ環境学部 バイオサイエンス学科〔定員減〕 (△ 10)</p> <p>バイオ環境デザイン学科〔定員減〕 (△ 40)</p>

区分	大学名	学部・学科等名	入学 定員 (人)	位置	設置者	留意事項	備考
	(京都学園大学)					<ul style="list-style-type: none"> ・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実施すること。(言語聴覚学科) ・本学科の設置の理念・趣旨に示された「健康スポーツ」の定義との整合性を考慮して大学案内を作成しているが、保健体育の教員免許取得や競技力の向上について記載されており、必ずしも整合性がとれているとは言えないため、学生等が誤解することのないよう大学案内等の広報冊子を適切に修正すること。(健康スポーツ学科) ・本学が取得可能としている資格と、履修すべき授業科目について、学生への事前の説明に努めること。特に、中学・高等学校教諭一種免許状(保健体育)の免許取得が可能であるが、本学科の教育課程で科目開設がなされていないことから、当該免許の取得を希望する学生にわかりやすく履修指導するとともに、本学科の教育課程として開設するのであれば、開設科目であることを明確にし、本学科の専任教員を配置するのであれば、学科開設時までには教員審査を受けること。(健康スポーツ学科) ・教育研究水準の向上を図るため、すべての教員の学位取得を目指すとともに、インターネットを通じ、博士の学位を有する学外の若手教員を公募するとしているが、当該目的の実現に向け、具体策を検討し、着実に実行すること。(健康スポーツ学科) ・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実施すること。(健康スポーツ学科) 	
私立	京都光華女子大学	こども教育学部 こども教育学科	80	京都府京都市	学校法人 光華女子学園	<ul style="list-style-type: none"> ・「理科」について、教科指導法の内容となっていることから改めること。 ・英語に関する演習科目を履修する前に第二言語習得理論を学ぶ必要があるが、開設予定の「第二言語習得演習」については、理論を学ぶ内容になっていないことから適切に改めること。 ・教員の補充を必要とされた5授業科目については、科目開講時までには教員を充足すること。うち、専任教員の配置を必要とされた3授業科目については、確実に専任教員を配置すること。 	京都光華女子大学短期大学部 こども保育学科(廃止) ※平成27年4月学生募集停止 (△ 80)

区分	大学名	学部・学科等名	入学定員 (人)	位置	設置者	留意事項	備考
	(京都光華女子大学)					<ul style="list-style-type: none"> ・完成年度における法人全体の帰属収支差額がマイナスとなっていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。 ・改組転換に該当するため、審査基準上、設置経費が標準設置経費を下回っても差し支えないが、機械、器具等の整備にあたり教育研究に支障がないよう配慮すること。 ・改組転換に該当することから、京都光華女子大学短期大学部こども保育学科については、計画どおり廃止すること。 ・既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (京都光華女子大学 人文学部文学科、心理学科 キャリア形成学部キャリア形成学科、健康科学部心理学科) 	
私立	同志社女子大学	看護学部 看護学科	80	京都府京田辺市	学校法人 同志社	・特になし。	学芸学部 音楽学科 (3年次編入学定員) [定員減] (△ 10) 現代社会学部 社会システム学科 (3年次編入学定員) [定員減] (△ 10) 表象文化学部 英語英文学科 [定員減] (△ 15) (3年次編入学定員) [定員減] (△ 5) 日本語日本文学科 [定員減] (△ 10) (3年次編入学定員) [定員減] (△ 5) [3年次編入学定員については、 平成29年4月から定員減]
〃	龍谷大学	農学部 植物生命科学科 (3年次編入学定員) 資源生物科学科 (3年次編入学定員) 食品栄養学科 食料農業システム学科 (3年次編入学定員)	80 10 120 10 80 120 10	滋賀県大津市	学校法人 龍谷大学	<ul style="list-style-type: none"> ・「農学基礎実験A」及び「農学基礎実験B」は、農学を広く理解するための導入科目として位置付けられているが、植物生命科学科においては実験の専門的知識が更に必要である。したがって、2年次後期に開設予定の「基礎生物学実習」の内容につながるよう、「農学基礎実験A」については「生物学分野及び化学分野」を、「農学基礎実験B」については「生化学分野及び生物物理学分野」の内容を充実・追加するとともに、学生全員に履修させるよう必修科目に改めること。(植物生命科学科) ・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実施すること。(植物生命科学科) 	

区分	大 学 名	学部・学科等名	入 学 定 員 (人)	位 置	設 置 者	留 意 事 項	備 考
	(龍谷大学)					<ul style="list-style-type: none"> ・教員の補充を必要とされた2授業科目については、科目開講時まで確実に専任教員を配置して教員を充足すること。(植物生命科学科) ・「農学基礎実験A」及び「農学基礎実験B」は、農学を広く理解するための導入科目として位置付けられているが、資源生物科学科においては実験の専門的知識が更に必要である。したがって、2年次後期に開設予定の「基礎生物学実習」の内容につながるよう、「農学基礎実験A」については「生物学分野及び化学分野」を、「農学基礎実験B」については「生化学分野及び生物物理学分野」の内容を充実・追加するとともに、学生全員に履修させるよう必修科目に改めること。(資源生物科学科) ・教員の補充を必要とされた2授業科目については、科目開講時まで確実に専任教員を配置して教員を充足すること。(資源生物科学科) ・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規定の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実施すること。(食品栄養学科) ・寄附金について、募集要項等に任意であることが明記されていなかったことから速やかに改善すること。 	
私立	大阪体育大学	教育学部 教育学科 小学校教育コース 保健体育教育コース	70 55	大阪府泉南郡熊取町	学校法人 浪商学園	<ul style="list-style-type: none"> ・教育実習期間について3週間を設定しているが、実施期間が十分とは見受けられない。このため、十分な実習期間となるよう改めるか、又は、教育実習とインターンシップを組み合わせる計画なのであれば、学生がその全体計画が把握できるよう、あらかじめ示すこと。 ・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。 ・理事会及び評議員会の運営に関し、以下の事項について適切に行うこと。 <ul style="list-style-type: none"> ・決算に係る理事会と評議員会の開催順序 ・完成年度における法人全体の帰属収支差額がマイナスとなっていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。 	健康福祉学部（廃止） 健康福祉学科 (△ 120) (3年次編入学定員) (△ 10) ※平成27年4月学生募集停止

区分	大学名	学部・学科等名	入学定員(人)	位置	設置者	留意事項	備考
私立	四條畷学園大学	看護学部 看護学科	80	大阪府大東市	学校法人 四條畷学園	<p>・4年制大学にふさわしい「幅広い教養を身につけた」人材を養成するため、更に教養科目の充実に努めること。その際、学生の負担を考慮し、専門基礎科目の中の「人間関係学」、「コミュニケーション論」、「ストレスマネジメント論」、「家事援助論」、「女性健康論」などについては一般教養として学ぶことが可能であることから、教養科目として位置付けるとともに、専門基礎科目の必要修得単位数を教養科目の必要修得単位数に振り分けるなど、工夫すること。</p> <p>・教員の補充を必要とされた9授業科目については、科目開講時までには教員を充足すること。</p>	
〃	神戸女子大学	看護学部 看護学科	80	兵庫県神戸市	学校法人 行吉学園	<p>・「学びのグループゼミⅠ～Ⅲ」の内容に、上級学年の実習報告やディスカッションを聴くものが含まれているが、完成年度を迎え全学年がそろうまではそのような授業は行えず、科目設定の狙いに沿った学修ができないおそれがあることから、それらの内容と同等の学修効果を得られる代替手段を講じるなどして、十分な学修内容を担保できるようにすること。</p> <p>・文学部神戸国際教養学科の入学定員超過の是正に努めること。</p>	
〃	武庫川女子大学	看護学部 看護学科	80	兵庫県西宮市	学校法人 武庫川学院	<p>・特になし。</p>	
〃	中国学園大学	国際教養学部 国際教養学科 (3年次編入学定員)	80 5	岡山県岡山市	学校法人 中国学園	<p>・本学部においては、地域（ローカル）から世界（グローバル）へ発信していく新しい「地域発のグローバル人材」の育成を目指し、自己のローカルの発想を相対化する能力を身に付けるとしている。このことに関して、自己の地域に密着した知識を相対化することについては説明されているが、それをどのようにしてグローバルに活かすのか不明である。また「自己と他者との、いわば『異文化』的つながりの理解に基づいて、それぞれ個性を持ったローカル間の、より大きな『異文化』的つながりを認識することを基盤とする」とあるが、「『異文化』的つながり」についても説明がない。以上のように、本学部の養成する人材像の説明において、不十分な点が見受けられることから、対外的な説明等において養成する人材像を明確化し説明できるようにすること。</p> <p>・教員の補充を必要とされた1授業科目については、科目開講時までには教員を充足すること。</p>	

区分	大 学 名	学部・学科等名	入 学 定 員 (人)	位 置	設 置 者	留 意 事 項	備 考
	(中国学園大学)					<ul style="list-style-type: none"> ・学生確保に向けた取組について、理事会の責任において、戦略性と具体策及び危機感を持って教職員が一体となり各種方策の充実や実効性の向上を図り、新設学部において、確実に学生を確保できるよう取り組むこと。 ・既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (中国学園大学 現代生活学部人間栄養学科、中国短期大学 情報ビジネス学科) 	
計	17校	(3年次編入学定員) 17学部 23学科	35 1,995	(3年次編入学定員) 大 学	△ 40 △ 1,260	短 期 大 学	△ 80

(注) 「備考」欄の()書きの数字は、今回の認可申請に伴う既設学部等の入学定員の変更状況を示す。

2 短期大学の学科を設置するもの 1校

区分	大 学 名	学科名	入 学 定 員 (人)	位 置	設 置 者	留 意 事 項	備 考
私立	仙台青葉学院短期大学	栄養学科	80	宮城県仙台市	学校法人 北杜学園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。 ・ 学生生徒等納付金に対する経常的経費支出の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べて低いことから、同納付金の学生への還元に取り組むこと。 ・ 理事が選任条項上の欠員となっていることから、速やかに補充すること。 	
計	1 校	1 学科	80				

3 学部の学科を設置するもの 6校

区分	大 学 名	学部・学科等名	入 学 員 定 員 (人)	位 置	設 置 者	留 意 事 項	備 考
私立	日本医療大学	保健医療学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻 作業療法学専攻	40 40	北海道恵庭市	学校法人 日本医療大学	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門教育科目における専攻ごとの履修方法について、「教育課程等の概要」の「卒業要件及び履修方法」の欄では必修科目と位置付けられている科目が、「設置の趣旨等を記載した書類」では選択科目と位置付けられているかのように記載され不整合が生じており、学生に混乱を与える可能性がある。そのため、学生が所属専攻ごとに履修すべき科目を適切に選択できるよう、専攻ごとの授業科目の必修・選択の区分を整理した上で、学生に対して丁寧な履修指導を行うこと。 ・ 運動場が別地にあることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。 ・ 完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。 ・ 教員の補充を必要とされた32授業科目については、開設時又は科目開講時までに教員を配置すること。うち、専任教員の配置を必要とされた28授業科目については、確実に専任教員を配置すること。 	
"	福島学院大学	福祉学部 こども学科	40	福島県福島市	学校法人 福島学院	・ 特になし。	福祉学部 福祉心理学科〔定員減〕 (△ 10)
"	創価大学	工学部 共生創造理工学科	100	東京都八王子市	学校法人 創価大学	<ul style="list-style-type: none"> ・ 完成年度における法人全体の帰属収支差額がマイナスとなっていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。 ・ 既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (創価大学 経済学部通信教育部、法学部通信教育部) 	工学部 生命情報工学科 (廃止) (△ 50) 環境共生工学科 (廃止) (△ 60) ※平成27年4月学生募集停止 平成27年4月名称変更予定 工学部 →理工学部
"	名古屋学院大学	スポーツ健康学部 こどもスポーツ教育学科	50	愛知県瀬戸市	学校法人 名古屋学院大学	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本学科の教育の特色として掲げている地域連携による体験学習については、さらなる内容の充実を図ること。 ・ 教員の補充を必要とされた1授業科目については、科目開講時までに教員を充足すること。 	

区分	大 学 名	学部・学科等名	入 学 定 員 (人)	位 置	設 置 者	留 意 事 項	備 考	
私立	大阪青山大学	健康科学部 看護学科	80	大阪府箕面市	学校法人 大阪青山学園	<ul style="list-style-type: none"> ・運動場及び体育館が別地にあることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。 ・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実施すること。 ・教員の補充を必要とされた1授業科目については、科目開講時までに教員を配置すること。 ・監事監査をはじめとする監査業務の充実に取り組むこと。 		
"	梅花女子大学	看護学部 口腔保健学科	70	大阪府茨木市	学校法人 梅花学園	<ul style="list-style-type: none"> ・アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー及びディプロマポリシーの具体的内容が不明瞭であることから、それらを明確に定めるとともに、学生や社会に対して明示するなどして、適切な学科運営に努めること。 ・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実施すること。 ・寄附金について、募集要項等に任意であることが明記されていなかったことから速やかに改善すること。 	文化表現学部 国際英語学科〔定員減〕 (△ 20) (3年次編入学定員)〔定員減〕 (△ 10) 日本文化創造学科〔定員減〕 (△ 20) (3年次編入学定員)〔定員減〕 (△ 10) 情報メディア学科 (3年次編入学定員)〔定員減〕 (△ 10) 心理こども学部 こども学科〔定員減〕 (△ 10) (3年次編入学定員)〔定員減〕 (△ 5) 心理学科 (3年次編入学定員)〔定員減〕 (△ 5) 平成27年4月名称変更予定 看護学部 →看護保健学部	
計	6 校	6学部 6学科	420	認可申請に伴う既設学部等の入学定員の変更状況				
						(3年次編入学定員) △ 40 大 学 △ 170		

(注) 「備考」欄の () 書きの数字は、今回の認可申請に伴う既設学部等の入学定員の変更状況を示す。